

令和7年度 六大学との連携事業一覧(事業区分別)

本表の並び順について
「事業区分」①イベント②講座③委員、会議④実習生受入⑤大学授業と連携⑥調査研究⑦企業等連携⑧研修の順
「事業区分」の中は、「大学」順、「主な対象者」順
なお、「大学」、「主な対象者」は、下記の順で記載
「大学」(足立区での開設順)放送大学 東京藝術大学 東京未来大学 帝京科学大学 東京電機大学 文教大学
「主な対象者」(年齢を基準に区分)幼児 小学生 中学生 高校生 大学生 高齢者 全区民など ※対象者が上記区分をまたがる場合、主な対象者を優先

No.	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学科	個人名	事業概要	実施方法	実施日	参加者数
1	イベント	東京藝術大学	幼児～中学生	足立区における多層的文化芸術環境に関する調査研究委託事業「音楽教育支援事業」	大学院音楽研究科	市川惠准教授	1 学校希望制にて、出張演奏会の実施や部活動指導等の実施 2 授業補助等の映像コンテンツの作成・配布 3 音楽教諭研修会の実施	対面	通年	10,839
2			小学生	アートアクセスあだち 音まち千住の緑藝大千住おばけキャンパス	音楽環境創造科/国際芸術創造研究科	長島確准教授	東京藝術大学千住キャンパスをより地域に開かれた場にすることを目標にする千住キャンパスをおばけ屋敷に見立てて、演劇、ダンス、音楽とさまざまな表現方法で演出する。	対面	7/26、27	158
3			小中学生	アートアクセスあだち 音まち千住の緑「イミグレーション・ミュージアム・東京」	音楽環境創造科/国際芸術創造研究科	熊倉純子教授	現代アートの手法を用いて、地域に暮らす外国人との交流を通して多文化社会を紐解く岩井成昭(秋田公立美術大学教授、東京藝術大学非常勤講師)のプロジェクト。区内の小学校1校と中学校1校(スマイル教室含む)へ海外ルーツを持つアーティストを派遣する等、アートを通じて多文化社会を考えるエデュケーション・プログラムを実施した。	対面	6/23、7/1、3、4、6、10、15、1/7、2/5、6	188
4			全区民	足立区における多層的文化芸術環境の創造に関する調査研究委託事業「芸術によるまちづくり事業」	音楽環境創造科	田村文生教授	コンサートや動画配信、ワークショップなどを通して、区民の文化芸術への関心を高め、文化芸術を通して生活の質の向上及び足立区の個性創造を図るとともに、区内文化芸術振興に資することを目的とする。 コンサートやワークショップ(R5年度から)を年4～5回で実施。その一部を後日動画配信する。	オンライン、対面	6/13、9/13、11/3、12/20、2/7	887
5				アートアクセスあだち 音まち千住の緑「Memorial Rebirth 千住」	音楽環境創造科/国際芸術創造研究科	熊倉純子教授	無数のシャボン玉で見慣れた景色を変容させ、新たな記憶を生む、現代美術家・大巻伸嗣によるアートパフォーマンス作品を軸に、地域住民との協働で展開するプログラム。しょうぶまつりのほか、都市農業公園で開催された路地裏アートプロジェクトでのパフォーマンスを行った。	対面	6/7、8、15	1,074
6				アートアクセスあだち 音まち千住の緑「千住だじやれ音楽祭」	音楽環境創造科/国際芸術創造研究科	熊倉純子教授	作曲家の野村誠と公募で集まった市民による音楽団体「だじやれ音楽研究会」が、多様な人々との共創を通じて、だじやれと音楽が結びついた「だじやれ音楽」を深めていくプロジェクト。事前リハやパフォーマンスを実施し、仲間づくりを行い、千住スポーツ公園で1010人の演奏者による大型イベント「キタ！千住の1010人」を実施した。	対面	5/25、6/7、8、13、14、30、7/29、8/20、24、25、28、29、9/7、11、14、15、17、18、26～29、10/5、8、9、11、12、1/12、2/1、3/28、29	8,248
7				アートアクセスあだち 音まち千住の緑 拠点形成事業「仲町の家」	音楽環境創造科/国際芸術創造研究科	熊倉純子教授	江戸時代に建てられた旧家の日本家屋を、アートの拠点・文化交流施設として管理運営している文化サロン。 さまざまな人や団体とともに家の活用法を探る「パイロットプログラム」では、特に創作・表現意欲のある若手アーティストや学生の活躍・挑戦の場となっている。 千住宿開宿400年の今年は関連事業の表現の場としても機能した。	対面	通年	8,301
8				アートアクセスあだち 音まち千住の緑「千住・人情芸術祭 1DAY パフォーマンス表現街」	音楽環境創造科/国際芸術創造研究科	熊倉純子教授	地域の人と場所との関係性に着目した、新たな「緑」を結ぶことを目指し、公募パフォーマンス・ゲストアーティストらが、千住ほんちよう商店街等で同時多発的に歌や踊りなどのパフォーマンスを繰り広げた。 当日のパフォーマンスだけではなく、ゲストアーティストが開催までの期間ほんちよう商店街のスケッチを行い絵を展示してもらうなど、地域との新たな縁を紡いだ。	対面	5/25	9,823
9		東京未来大学	全区民(保育者)	足立区における多層的文化芸術環境に関する調査研究委託事業「福祉と子育て支援事業」	音楽文化学専攻音楽文芸	畑瞬一郎教授	文化芸術への区民の関心を高め、文化芸術を通して生活の質の向上及び足立区の個性創造を図るとともに、多層的文化芸術環境の創造に関する調査研究を実施し、今後の区内文化芸術振興に資することを目的とする。 ・具体的事業は以下のとおり。 ①区内保育施設の音楽活動に、音楽療法のノウハウとスキルを活用するため、出張型園内コンサート及び園内研修を実施 ②保育者を対象に音楽を通して、乳幼児期と関わる意義とその方法の理解を深め、保育実践につながる具体的な音楽活動(おとそび研修) ③障がいのある子どもと、その家族を対象としたコンサート(二部制)	対面	①6/10、24、7/1、8、15、22、23、29 ②9/9、25、30、10/7、23、28、11/11、1/28 ③11/24	758
10			幼児、小学生	こどもみらい祭	—	—	大学生と千住地域の小学生が実行委員となって出店等を行った。主な来場者は地域の親子。	対面	7/12	559
11		帝京科学大学	幼児	ゆるスポ広場in学びっこフェスタ	—	SATCMB(学生団体)	大学生と体を動かしながら、ゆるスポーツを楽しむ。	対面	5/6	263
12				のびのびブレイディ	幼児保育学科	津田彰教授/飯泉祐美子教授/今西ひとみ教授/巨直子教授/呂曉彤教授/三石美鶴特任教授/木場有紀准教授/富岡麻由子准教授/松山寛講師/渡部晃子講師/安部久美助教/小林咲里亜助教/田口直子助教/林直美助教/渡辺令子助教/植木岳雪教授/大日向浩教授/倉山智春准教授/加藤大和講師/堀和芳教授/森長真一准教授/三好哲平特任助教	大学内に準備された複数の遊びのブースを親子で自由に遊びながら、家でもできる遊びを学ぶ。	対面	12/6	59
13			小学生	夢の体験教室	学校教育学科	植木岳雪教授/大日向浩教授/倉山智春准教授/加藤大和講師	小学生が複数の科学実験を体験しながら大学生生活を体験する。	対面	8/23	96
14			中学生	体験！1日大学生	生命科学科/自然環境学科/アニマルサイエンス学科	堀和芳教授/森長真一准教授/三好哲平特任助教	中学生向けにアレンジした大学の講座を受講することで、大学生生活を体験する。	対面	8/23	80
15			大学生	拉致問題啓発パネル等の展示	—	—	「北朝鮮人権侵害問題等啓発週間12/10～16」にあわせた啓発事業として、啓発パネル・のぼり旗等を大学構内に展示。	対面	12/10～16	—
16			全区民	学びピアお正月イベント 日本のお正月を楽しもう	国際交流センター	陳麗麗氏	イベント内でのコーナーを担当(異文化交流体験)。	対面	1/12	310
17				清掃美化活動実施団体	—	—	大学として団体登録。月1回以上、定期的に清掃活動を実施する団体に対し、年1回、区が5,000円以内の清掃物品を進呈、及びホームページ等で活動紹介を行う。	対面	月1回以上	48
18				防災フェスティバルへの出展	アニマルサイエンス学科	山本和弘教授	10/11～12に荒川河川敷で実施した区民まつり会場にて、防災フェスティバルを実施。協定締結の関係機関を中心に防災の普及啓発を目的とした。	対面	10/11、12	—

No.	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学科	個人名	事業概要	実施方法	実施日	参加者数
19	イベント	東京電機大学	全区民	高校生によるあだち未来スケッチ	地域連携課/ボランティア部らいふ	深澤氏/塩澤氏	基調講演講師として深澤氏、および塩澤氏に講演していただく。	対面	11/16	41
20				花いっぱいコンクール	生体反応制御研究室	—	花いっぱい運動の一環として実施。大学敷地内の花壇で花の栽培を行い、コンクールに参加する。	対面	年2回	20
21				あだち国際交流フェア2025「世界のあそび体験」ブース出店	—	—	国際交流イベントを通じて、文化や生活習慣等の多様性を相互に理解し、多文化共生社会の発展を図ることを目的とする。東京電機大学はあだち国際まつりに参加していた経緯から依頼。昨年度から名称を変えてイベントを開始し、昨年度に引き続き外国の文化体験を目的に、学生や留学生に各国のあそびを紹介をして貰った。	対面	11/23	750
22				北千住美化推進協議会による秋の清掃活動	—	—	北千住美化推進協議会として、駅周辺の清掃活動を実施。大学敷地内をごみ回収場所として提供してもらっている。	対面	11/8	135
23			—	千住花*花会	ボランティア部「らいふ」	—	花いっぱい運動の一環として実施。北千住駅ペDESTリアンデッキの花壇で花の植替えを行う。	対面	年4回	9
24		文教大学	小中学生	夏休みスペシャル！小中学生ナマガくん広場	人間科学科	二宮雅也教授ゼミ生	大学生による夏休みの子供の居場所。	対面	7/20、27、8/3、17、24、31	73
25		文教大学	小中学生	あだち子ども未来起業塾	経営学科	田中克昌准教授	小学4～6年生を対象に、SDGsについて学びながら、起業の一連の流れを体験する事業に、田中准教授のゼミの学生がグループメンターとして参加。令和5年度から事業開始。	対面	7/31、8/1、2	79
26			全区民	日本の伝統文化を楽しもう盆踊り&縁日	人間科学科	二宮雅也教授ゼミ生	大学生が中心となって縁日や盆踊りを行う。	対面	8/10	217
27				花畑フェスティバル	—	ダンスサークルBUZZ	5か年計画主要事業「ハニカムフェス」のプレイベントとして昨年に続いて2回目の実施。ダンスイベント、ワークショップ、ボードゲーム体験を実施。	対面	8/24	873
28				文教マルシェ	地域連携課	—	文教大学東京あだちキャンパスへ4月からアプローチし、例年行われているマルシェに初めて出展。多世代向けに先進的な福祉用具展示をメインとした出張相談窓口を開催。主催・実行委員である文教大学地域連携課や足立成和信用金庫の担当者はもとより、各事業者ともメールや電話、対面で幾度も打ち合わせを行った。雨が降る中で例年より少なかったものの多数参加者があった。園域だけでなく、隣接する草加市や保木間・一ツ家方面からの参加者も多かった。また、現役世代や小中学生、文教大生も参加が目立った。展示物の中では、特に立ち上がり支援の電動ベッド、電動車椅子が人気で新鮮な体験となった様子。ベッドセンサーでバイタル測定ができる展示では、医療職の反応があった。併せて、包括事業、脳活ラボ、認知症理解、孤立ゼロPJTの周知も行った。	対面	10/26	139
29				文教大学 東京あだち図書館・花畑図書館 共同展示「足立から江戸を知る/見る/読む 千住宿開宿400年記念」	図書館課	—	文教大学東京あだち図書館で実施した「千住宿開宿400年記念」展示を、花畑図書館の特集棚でも展開した。千住宿や江戸時代の街道文化、江戸の人々の暮らしに関する資料を中心に、両館で共同選書した資料を展示した。	対面	11/1～27	—
30				「出張！世界を旅するおはなし会-絵本でめぐる音楽の旅」	図書館課	—	花畑図書館の「世界を旅するおはなし会」を基に、文教大学学園祭で「絵本でめぐる音楽の旅」を実施。絵本の読み語りに加え、レインスティックやカリンパの体験、紙コップ・マラカスや紙皿カスターネットなどの簡単な楽器づくりワークショップを行った。	対面	11/8	48
31				くらしフェスタ(消費生活展)	国際観光学科/国際理解学科	黛陽子准教授/渡邊暁子准教授	くらしフェスタは、消費者団体などの活動成果の展示や、官公庁・生活関連企業などの情報提供を通じて消費者意識の啓発を図ることを目的とした内容。エシカル消費をテーマとして、黛ゼミ出展ブースでは、パリ島農村観光プロジェクトにより村人が作成した紙すきを利用して大学生が開発した商品を販売及びその場で簡単に手作りできるワークショップ式販売を実施。渡邊ゼミ出展ブースでは、NPO法人ハロハロなどの紹介・ミサンガ作りやネームタグ作りなどワークショップ、カードケースなどの販売を実施。	対面	10/25	637
32				華叉祭 エラビーシール デザイン 総選挙	地域連携課	—	主権者教育事業の一環として、令和4年度から学園祭に出展。気に入ったエラビーシールのデザインに投票してもらい、投票数が多かったものを実際にシール化した。その他、ストラックアウト、輪投げゲーム、アンケートを行い、参加者には啓発グッズを配付した。	対面	11/8、9	452
33				花畑ガイドウォーク「千住宿！？草加宿」	—	澤内隆講師	桜花亭での講座のあと、実際に花畑地区を歩きながら、千住宿や地名について深掘りし、歴史について学べるガイドツアー。ガイドツアーコース：桜花亭→毛長川沿い→花畑浅間神社(富士塚)→桜花亭 花畑地区を知っていただく機会として実施。	対面	11/23	11
34			幼児、小学生	トイレアートプロジェクト	教育学部	—	学生、児童を巻き込んだ企画とすることで、自分が携わったデザインが残り、公園に愛着を持ってもらえる。公園トイレをきれいにし、安全・安心・快適に利用できる環境づくりを進める。	対面	12/13	40
35				花畑図書館出張展示「えほんオーケストラ」	図書館課	—	文教大学東京あだち図書館のメイン特集コーナーにて、共同展示を行った。花畑図書館で開催している「世界を旅するおはなし会」で紹介した音楽にまつわる絵本を展示した。	対面	10/30～11/30	—
36				花畑図書館出張ミニ展示「世界を旅するおはなし会」	図書館課	—	文教大学東京あだち図書館の入口にて、花畑図書館で毎月開催している「世界を旅するおはなし会」にて使用した本を展示した。	対面	4月～3月	—
37		東京藝術大学/ 東京未来大学/ 帝京科学大学/ 東京電機大学/ 文教大学	大学生	地下鉄サリン事件30年経過に伴うパネル展	—	—	若者への周知のため回顧展キャラバン。	対面	4/21～25、5/26～30、6/9～13、6/16～19、7/24～25、9/16～19	—
38		東京藝術大学/ 東京未来大学/ 帝京科学大学/ 文教大学	小中学生	小学校自然教室事業(日光・赤城・那須甲子・磐梯)	—	—	小学校5年生の国立施設(赤城・那須甲子・磐梯)自然教室、6年生の日光自然教室に随行し、教員の補助をする指導補助員・養護指導員として大学生が参加している。	対面	5月～2月	33
39		東京藝術大学/ 東京未来大学/ 東京電機大学/ 文教大学	全区民	あだち大学フェス	—	—	秋に開催される各大学の大学祭をPRすることを目的に、学生が実行委員となって区内大学の複数のサークル等によるワークショップ、研究成果の展示などを行った。シティブロメーション課は千住宿400年のPRブースを出展。	対面	8/29	250
40		東京藝術大学/ 帝京科学大学/ 文教大学	全区民	春のごみゼロ地域清掃活動	—	—	区の「春のごみゼロ地域清掃活動」事業への協力を依頼。指定期間中に、大学周辺の清掃活動を実施。	対面	4、5月毎週月曜、5/16、5/27	72
41		東京未来大学/ 帝京科学大学/ 東京電機大学/ 文教大学	大学生	食育月間	—	—	食育月間ポスターの掲示及びリーフレットの配布、食堂内でのベジタベライフPRのぼり旗等の設置。	対面	6/1～30	—
42		東京未来大学/ 帝京科学大学/ 東京電機大学/ 文教大学	全区民	秋のごみゼロ地域清掃活動	—	—	区の「秋のごみゼロ地域清掃活動」事業への協力を依頼。指定期間中に、大学周辺の清掃活動を実施。	対面	10/1～11/30	120
43		東京未来大学/ 帝京科学大学/ 東京電機大学		第4回大学生によるあだち未来スケッチACTION	—	—	大学生による地域活動の発表会。区内大学をはじめとした近隣の大学も参加。	対面	6/29	77
44		東京未来大学/ 帝京科学大学	高校生	高校生向け大学見学会	—	—	青井高校の生徒が大学を見学。帝京科学大学では模擬授業も行った。	対面	7/25、7/29	4
45		東京未来大学/ 東京電機大学/ 文教大学	全区民	あだちN祭2025ボランティア	—	—	「NPOを知り、体験してもらう」ことを目的に区内で活動するNPO団体やCSR企業が出展するイベント。大学連携を図るため、大学にボランティアを募った。	対面	11/15、16	11

No.	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学科	個人名	事業概要	実施方法	実施日	参加者数
46	イベント	帝京科学大学/ 東京電機大学	全区民	未来へのおくりものプロジェクト「学生×子ども 未来をつくるフェス」	—	—	子ども向けの軽スポーツや楽しい体験など盛りだくさんのイベント。	対面	2/22	320

No.	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学科	個人名	事業概要	実施方法	実施日	参加者数
1	講座	放送大学	全区民(16歳以上の方)	発達障害とグレーゾーンの今日的課題	—	董倫子客員教授	発達障害に関する基礎知識と社会の動き、支援の現状について解説。	ハイブリッド	2/1	45
2		東京未来大学	幼児	親子で楽しむ 着ぐるみ運動会	こども心理学科	今井康晴准教授/西村実穂准教授/岩井真澄講師	大学生が企画したオリジナル運動会を親子で楽しむ。	対面	6/14	38
3				絵本とピアノの読み聴かせ	こども心理学科	高地誠子准教授/ゼミ生	3分野事業の一つとして、図書館で実施。	対面	11/15	6
4				親子で楽しむクリスマスコンサート	こども心理学科	高地誠子准教授/ゼミ生	学生と一緒にクリスマスソングを取ったり、合奏したりするコンサート。	対面	12/21	75
5			中学生	中学生のための心理学講座	モチベーション行動科学科	磯友輝子教授	大学のキャンパスで、心理学をテーマにした体験学習型授業に参加し、ソーシャルスキルについて学ぶ。	対面	2/15	14
6			中高生	アートワークショップ	こども心理学科	高橋文子准教授	大学教授と大学生の指導のもと、講義・造形活動の実施をととして豊かな感性や自己表現力を養う。	対面	6/29	31
7			小中学生の保護者	親子のコミュニケーション	モチベーション行動科学科	磯友輝子教授	心理学を専門とする大学教授から、思春期の子どもの感情を理解・コントロールする方法や、互いを尊重しあう会話のコツなどについて学ぶ。	対面	6/15	29
8			全区民	出張講座「キラキラボトルを作ろう！」	エンロールマネジメント局	楠正宏氏/棚倉和沙氏	東京未来大学学園祭MIRAI FES.2025にて出張講座を実施。	対面	11/9	51
9				教科書には書かれていない歴史を学ぶ 古文書講座—江戸時代の地域社会—	モチベーション行動科学科	山崎義弘准教授	現足立区域をはじめとする地域社会に関する古文書を読み解く。	対面	7/4、11、18	76
10				教科書には書かれていない歴史を学ぶ 古文書講座—江戸時代の地域社会 其の二—	モチベーション行動科学科	山崎義弘准教授	現足立区域をはじめとする地域社会に関する古文書を読み解く。今と江戸時代の税制に関する古文書を読む。	対面	10/17、24、31	73
11		東京未来大学	全区民	教科書には書かれていない歴史を学ぶ 古文書講座—江戸時代の地域社会 其の三—	モチベーション行動科学科	山崎義弘准教授	足立区域に関する古文書を読みながら解説する。	対面	2/13、20、27	61
12				学生と楽しくフレイル予防 千住まち歩きと健康づくり	モチベーション行動科学科	森下一成教授/ゼミ生	学生の企画したまち歩きコースを学生のガイドで楽しむ。	対面	11/8	6
13				映画「大きな家」上映会と座談会	こども心理学科	越川葉子専任教員	映画「大きな家」の上映と、養護施設職員を交えた座談会を実施。	対面	11/29	37
14				残したい記憶を絵日記のように描く 記憶画講座(2日制)	こども心理学科	高橋文子准教授	記憶画について説明し、実際に描く。	対面	2/20、3/6	34
15			—	ぼうけんあそびサポーター講習会講師	こども心理学科	横畑泰希准教授	ぼうけんあそびに関わるサポーターに対して、子どもとの関わり方についてアドバイスをいただく。	対面	2/21	6
16		帝京科学大学	小学生と保護者	今こそ親子で！育てよう”しなやかで強いカラダ”	学校教育学科	持田尚教授	子どもの運動指導に携わる大学教授から、親子で楽しみながらできる体づくり運動や家庭で続けられるコツを教わりながら、子どもの基礎的動作(走る・投げる・跳ぶ)を学び、効率的な体の動かし方を身につける。	対面	11/15	49
17			大学生	認知症高齢者支援事業	医療福祉学科	宮本佳子講師	医療福祉学科1年生の授業の枠内で、「認知症になっても住み続けられるまち足立」を目指し、認知症講座を実施。 【座学】認知症サポーター養成講座、認知症サポーターステップアップ講座。	対面	7/15、22	48
18				動物看護コース学生の見学実習	アニマルサイエンス学科	彦野弘一教授	飼育上の留意点、動物園の役割、教育活動紹介などについて紹介。	対面	6/11、6/25、7/9	75
19		帝京科学大学	大学生	団体対応	アニマルサイエンス学科	野田英樹 准教授	大学3年生に向けて生物園の成り立ちと活動について説明。	対面	9/5	17
20			高齢者	「あなたの健康づくりを提案します！」大学生が地域のシニアの話を聴く会	看護学科	糸井和佳教授	地域看護学総合実習として、2日間の授業を実施。1日目は地域高齢者のニーズを把握し、2日目はそのニーズに基づいた提案を学生がプレゼンし交流する。	対面	8/22、29	13
21				おしゃべり処	看護学科	糸井和佳教授ほか	地域のシニアと看護師を目指す学生とのおしゃべりの場を傾聴ボランティアがコーディネートしながら実施する。	対面	10/7、14	22
22			全区民	あだちの大学リレーイベント企画「大学で学ぼう もっとココロがラクになる生き方」	看護学科	清野純子教授	六大学の特色を活かした区民向け講座等をリレーして実施。 医療現場で患者と向き合ってきた経験をもつ講師から、他者との関係づくりのコツやストレスから心を守る方法を学ぶ。	対面	11/29	79
23				ストレスに負けない！ 睡眠の質を高める食事・運動・休息	自然環境学科/総合教育センター	小林亮太講師	良質の睡眠をとり健康生活を送るために、睡眠と食事、睡眠と運動、睡眠と休息の関係をエビデンスに基づいて紹介する。	対面	4/12	43
24				健康寿命キーワードとして「骨」を考える	東京理理学療法学科	藤田博暁教授	骨に関するレクチャーと骨密度測定、体力測定、対策としての実技を行う。	対面	9/20	48
25		東京電機大学	小学生	Chat GPTを使って大学生とウェブサイトを作ってみよう！	—	ボランティア部らいふ	大学生と一緒に考えながら、自分の思い描くウェブサイトを作る。	対面	8/5	16
26				あだちの大学リレーイベント企画「ひらめきをカタチにする夏 生成AIでポスターを作ろう！」	英語教育系	宍戸真教授	六大学の特色を活かした区民向け講座等をリレーして実施。 小学5・6年生を対象に、大学生と一緒に、生成AIを使って、ポスターを作成する。	対面	8/26、27	45
27			小中学生	関原の森・愛恵まちづくり記念館指定管理者事業「夏休みキッズ模型講座」	建築学科	都市計画研究室学生	子どもを対象に住環境教育や建物作りを学ぶワークショップ。 講座名は「親子で挑戦！建築模型づくり！」研究室を通じて依頼した学生が参加。	対面	7/27、8/3	15
28				科学・ものづくり体験教室【大学体験】	先端機械工学科	小林宏史教授	大学のキャンパスで、実際に講義を受けながらものづくり体験。大学のキャンパスも紹介。	対面	8/2	17
29				プログラミング教室	デザイン工学科	土肥紳一教授	大学のキャンパスで、プログラミングをテーマにした講座を実施。本格的な内容を大学で体験する。	対面	9/27	15
30				科学・ものづくり体験教室【動画配信】	自然科学系列/応用化学科/自然科学系列/情報メディア学科/先端科学技術研究科/電気電子システム工学専攻/電子システム工学科	田中里美講師/保倉明子教授/鈴木孝宗講師/津國和泉助教/長澤光晴教授/井上竜/介助手/佐々木元気氏/五十嵐洋教授	自宅で動画をみながら、科学&ものづくり体験。複数のコースから好きな1コースを選んで体験する。	オンライン	8/1～31	171

No.	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学科	個人名	事業概要	実施方法	実施日	参加者数
31	講座	東京電機大学	全区民	東京電機大学連携講座「生活の中のロボット技術と人の関わり」	ロボット・メカトロニクス学科	石川潤教授	身の回りの生活で人と関わるロボットを学び、2足歩行ロボットの技術からAIロボットや自動運転車との付き合い方、また介護・生活支援・医療から地雷探知除去のロボット活用まで、ロボット工学の研究とその事例の講義。	ハイブリッド	1/17	13
32			全区民(16歳以上の方)	電大de学びピアコンサート バイオリンとチェロの調べ	—	—	千住キャンパス1号館100周年ホールで出前コンサートを実施。	対面	10/18	103
33				考古学と科学で読み解く文化財～古代ガラスの事例から	応用化学科	阿部善也助教	日本出土のガラスのルーツを辿る考古化学の旅や組成分析が活用されている事例を通して、非破壊検査とは何かを学ぶ。	ハイブリッド	3/28	34
34				イブニングセミナー「トイレ8」/万博トイレのあたらしい「かた」	建築学科	菅原大輔准教授	トイレ8のコンセプトに基づき、若手建築家が大阪万博で設計したトイレについて語ってもらう。	対面	12/5	43
35		東京電機大学	全区民(16歳以上の方)	産学連携技術促進事業「新製品開発に向けたパワーエレクトロニクス・制御技術の紹介」	ロボット・メカトロニクス学科 他	岩瀬将美教授 他	パワーエレクトロニクスや制御技術を紹介し、新製品開発のヒントを得る。	対面	6/26、7/3	23
36				産学連携技術促進事業「省エネ、医療に関連するセンシング技術の紹介」	電子システム工学科 他	小松教授 他	省エネや医療センサ技術を紹介し、新たな製品や事業を展開するきっかけを作る。	対面	11/13、20	16
37				産学連携技術促進事業「電大の面白い研究室を見学してビジネスのヒントを得よう！」	情報システム工学科 他	荒川俊也教授 他	大学の様々な最新の研究に触れて、ビジネスのヒントを得る。	対面	2/19	8
38			—	創業支援施設3施設合同セミナー	—	—	区内創業支援施設「かがやき」「かけはし」「あかつき」3施設合同による創業者対象セミナー。	対面	6/27、10/16、2/19	51
39		文教大学	小学生	あだちの大学リレーイベント企画「国と国とのつながりがわかる！音楽で世界を学ぼう！」	経営学科	高良佑樹専任講師	六大学の特色を活かした区民向け講座等をリレーして実施。 小学3～6年生を対象に、世界の音楽を聞きながら、国と国とのつながりを楽しく学ぶ。	対面	9/28	34
40			小中学生	OからENGLISH	国際理解学科	塩澤泰子教授	絵本をもとに、身体を動かして英語の面白さを身近に感じるレクリエーションやジェスチャーゲームを体感する。	対面	11/2	32
41			全区民(16歳以上の方)	文教大学連携「蛍の光」の歴史 歌から近現代史を学ぶ	地域連携センター	早川明夫講師	ふだんのくらしの中にある身近なものにも歴史があり、それを知る事で社会の変遷を見ることができる講座。	対面	7/6	33
42				春から始めるボランティア！身近な学習センター活用術	人間科学学科	二宮雅也教授	ボランティア活動についての講義と活動紹介を行う。	対面	3/21	15
43				スポーツと人権	人間科学学科	二宮雅也教授	スポーツと人権の歴史などを中心に学ぶ。	対面	12/13	19
44		帝京科学大学/ 東京電機大学	全区民(16歳以上の方)	平和を願うチャリティーコンサート(能登半島地震復興支援)	—	—	学生によるコンサート。参加費は全額日赤を通じて能登半島地震復興支援に寄付する。	対面	3/7	48

No.	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学科	個人名	事業概要	実施方法	実施日	参加者数	
1	委員会、会議	東京藝術大学	—	あだち区展2025絵画部門審査会	社会連携センター	栗原良彰准教授	外部審査員として、絵画部門出品作品から入賞作品を選考する。	対面	6/22	3	
2				あだち区展2025図工・美術部門審査会	絵画科	小瀬村真美准教授	外部審査員として、図工・美術部門出品作品から入賞作品を選考する。	対面	6/23	5	
3				足立区文化芸術劇場運営評価委員会	音楽環境創造科/大学院国際芸術創造研究科	熊倉純子教授	芸術劇場の施設運営を円滑に推進するため、シアター1010指定管理者の評価。	対面	1/22	5	
4		東京未来大学		居場所を兼ねた学習支援事業委託プロポーザル選定委員	こども心理学科	小林久美教授	プロポーザル選定委員会の学識委員(委員長)。令和元年度から継続的に就任いただいている。	対面	8/12、10/14、12/25	20	
5				子ども支援専門部会特別部会員	こども心理学科	小谷博子准教授	子ども支援専門部会の特別部会員。	対面	7/22、12/16、3/17	60	
6				足立区再犯防止推進協議会	こども心理学科	出口保行副学長兼学部長	再犯防止に関わる区内団体との情報共有の場として設立。	対面	3/13	25	
7				足立区地域自立支援協議会	こども心理学科	小谷博子准教授	足立区地域自立支援協議会の学識委員。こども部会部会長として、本会議およびこども部会に出席。	対面	7/1、10/22、1/29、2/27	62	
8				足立区公会計等審議会	モチベーション行動科学科	田中真奈美教授	足立区公会計条例に基づき入札及び契約手続の運用状況について調査・審議等を実施する。	対面	7/9、12/3、2/9	11	
9				東京未来大学外部評価委員会	—	—	区職員が大学の外部評価委員として、大学の理念・目的に関する事項その他を評価する。	対面	12/22	5	
10				上沼田東公園東側創出用地活用事業者選定委員会	東京柔道整復学科	中新井田敦子准教授	上沼田東公園東側創出用地の活用事業者についての選定会の学識委員。	対面	5/16、11/7、12/5	15	
11				パラスポーツ推進協議会	子ども心理学科	藤後悦子教授	パラスポーツの推進について審議又は調査を行い、スポーツを通じた共生社会を実現することを目的に設置。	対面	6/12、9/1、3/30	72	
12				足立区子ども施設指定管理者評価委員会	こども心理学科	佐々木由美子教授	足立区子ども施設指定管理者評価委員会の学識委員。	対面	9/19、10/27	6	
13				足立区立学童保育室指定管理者等評価委員会委員	こども心理学科	今井康晴准教授	指定管理学童保育室の業務評価の学識委員。昨年度より引き続き依頼している。	対面	10/9	5	
14				教育利用研究会「小学校」	こども心理学科	小林祐一准教授	教育に関する実務者や専門家と協力し、生物園での環境教育プログラムの開発を行う。引き続き新規プログラムの開発を行う。	対面	6/17、3/6	14	
15				ぼうけんあそび運営相談	こども心理学科	横畑泰希准教授	ぼうけんあそびの運営についてアドバイスをいただく。	オンライン	1/9	2	
16		帝京科学大学		足立区福祉施設指定管理者等評価委員会	医療福祉学科	中里哲也准教授/山田健司学科長	福祉施設の指定管理者評価のための委員。	対面	5/6、7/15、8/6、8/29	7	
17				足立区子育て支援サービス利用者負担適正化審議会	幼児保育学科	旦直子教授	足立区子育て支援サービス利用者負担適正化審議会の学識委員。	対面	9/26、10/24	32	
18				足立区立学童保育室運営業務委託選定委員	幼児保育学科	旦直子教授	業務委託学童保育室運営事業者選定の学識委員。足立区立学童保育室指定管理者選定審査会委員を依頼しており、引き続き依頼している。	対面	10/16、11/19、12/23	15	
19				足立区立学童保育室及び放課後子ども教室運営業務委託プロポーザル選定委員	幼児保育学科	旦直子教授	例年指定管理学童の選定委員を依頼していたため、今年度もプロポーザル選定委員を依頼。	対面	8/18、9/25、10/31、11/6	20	
20				令和7年度足立区避難所運営会議本部長・庶務部長会議	アニマルサイエンス学科	山本和弘教授	講演を実施。 テーマ「ペットも避難する時代 ～誰もが安心できる防災とは～」	対面	4/19	178	
21		帝京科学大学		—	足立区ペット防災対策アドバイザー	アニマルサイエンス学科	山本和弘教授	ペット防災対策の取組を効果的に行うため、ペット防災対策や防災行政について必要な助言等を行う。また、防災に関する講演・講話を行う。	対面	12/18	4
22					足立保健所窓口等運営業務委託プロポーザル選定委員	看護学科	古俣理子講師	足立保健所窓口等運営業務委託プロポーザル選定委員の学識委員。	対面	9/12、11/5、12/9	21
23					教育利用研究会「中学校」	幼児保育学科	高橋文子准教授	教育に関する実務者や専門家と協力し、生物園での環境教育プログラムの開発を行う。引き続き新規プログラムの開発を行う。	オンライン	9/17、3/6	13
24					教育利用研究会「幼稚園・保育園」	幼児保育学科	木場有紀准教授	教育に関する実務者や専門家と協力し、生物園での環境教育プログラムの開発を行う。引き続き新規プログラムの開発を行う。	対面	12/16、3/6	15
25		東京電機大学		—	足立区ユニバーサルデザイン推進会議	建築学科	山田あすか教授	足立区ユニバーサルデザイン推進会議の学識委員。	対面	6/12、1/29、3/16	32
26					足立区バリアフリー協議会	建築学科	山田あすか教授	足立区バリアフリー協議会の学識委員。	対面	6/12、9/5、10/1～30、2/26、3/16	131
27					住宅政策審議会	建築学科	山田あすか教授	住宅に関する施策の展開を推進するため「足立区住生活基本条例」に基づき設置し、住宅施策計画の審議を行う。休会中であったが、令和7年度から再開した。	対面	6/10、2/9	—
28					教育開発小委員会	—	—	区職員が大学の外部評価委員として、教学全般に関する事項その他を評価する。	対面	9/12	10
29					足立区個人情報保護評価委員会	情報システム工学科	松井加奈絵准教授	業務委託の安全管理措置が十分であるか評価する。	オンライン	4/22、6/20、7/17、8/13、9/25、10/24、11/20、12/15、1/22、1/16	—
30					足立区情報公開・個人情報保護審議会	情報システム工学科	松井加奈絵准教授	情報公開制度の重要事項に関して区長からの諮問を受けて答申する。	対面	8/7、12/26	—
31					足立ブランド認定選考委員	機械工学科/先端機械工学科/ものづくりセンター	松村隆教授/森田晋也教授／帯川利之技術アドバイザー	足立ブランド認定に係る選考委員。	対面	8/21、10/20、12/2、1/6	—
32					足立区環境審議会	建築学科	百田真史教授	区の環境の保全に関して必要な事項を調査・審議を行う。	ハイブリット	5/26、9/1、2/9	—
33					プラスチック分別回収事業実施に伴う資源化委託プロポーザル選定委員	建築学科	百田真史教授	中間処理施設についての選定会の学識委員。環境審議会副会長。	対面	5/1、7/14、8/4	15
34		文教大学		創業プランコンテスト選考委員会	経営学科	鈴木誠教授	創業プランコンテスト採択者決定についての選考委員会の学識委員。	対面	6/13～7/1、7/23	9	

No.	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学科	個人名	事業概要	実施方法	実施日	参加者数
35	委員会、会議	文教大学	—	創業支援施設入居者選考委員会	経営学科	鈴木誠教授	創業支援施設入居者決定についての選考委員会の学識委員。	対面	6/16、10/9、12/23、3/17	16
36				関原の森・愛恵まちづくり記念館指定管理選定等審査会(評価)	国際観光学科	青木洋高専任講師	指定管理の前年度業務の審査。	対面	8/1	6
37				あだち子どもの未来応援基金審査会	国際理解学科	山田修嗣学部長兼教授	あだち子どもの未来応援基金審査会委員(委員長)。	対面	6/9、10/27	9
38				足立区区政資料室デジタルアーカイブ推進委員会	データサイエンス学科	西川和専任講師	区政資料室が所蔵する行政資料のデジタル化およびホームページ公開の検討。	オンライン	5/13、8/26、11/13、3/12	—
39				学校開放事業審議会	人間科学科	二宮雅也教授	学校開放事業の適正かつ効果的な運営を図るため、教育委員会の附属機関として設置。	対面	7/28、10/27、1/30、3/12	57
40				新製品・新事業開発補助金選考委員	経営学科	田中克昌准教授	新製品・新事業開発補助金の採択者決定についての選考委員会の学識委員。	対面	7/1、25	—
41				経済活性化会議	経営学科	鈴木誠教授	足立区経済活性化基本条例第8条に基づき設置される区長の附属機関。経済活性化基本計画に関する調査・審議を行う。	対面	5/29、11/5、1/29	35
42		東京藝術大学/ 東京未来大学/ 帝京科学大学/ 東京電機大学/ 文教大学	大学生	大学祭等の実行委員の情報交換会	—	—	実行委員が一堂に集まり、お互いの大学祭に関して情報交換を実施。区からはあだち広報等、大学祭の周知に協力できる支援を説明した。	対面	6/25、12/17	41
43		東京藝術大学/ 東京未来大学/ 文教大学	—	足立区ギャラクシティ運営評価委員会	音楽学部/こども心理学科/教育学部	伊志嶺絵里子非常勤講師/渡辺千歳教授/山縣朋彦教授	ギャラクシティの施設運営を円滑に推進するため、足立区こども未来創造館及び足立区西新井文化ホール指定管理者の評価。	対面	12/23、24	12
44		東京未来大学/ 帝京科学大学		足立区子ども施設指定管理者等選定審査会	こども心理学科/幼児保育学科	横畑泰希准教授/富岡麻由子准教授	足立区子ども施設指定管理者等選定審査会の学識委員。	対面	8/8	8
45		東京未来大学/ 文教大学		足立区区民評価委員会	こども心理学科/発達教育課程	藤後悦子教授/桑原千明准教授	足立区区民評価委員会の学識委員。	対面 オンライン	5/1、5/30、6/23～27、7/1、3、4、8～10、15～18、24、29～31、8/5、8/21、9/4	—
46		東京電機大学/ 文教大学		公益信託あだちまちづくりトラスト運営委員会	システムデザイン工学科/国際観光学科	柴田滝也教授/清水麻帆教授	公益信託あだちまちづくりトラスト運営委員会において、助成の給付対象、給付額および給付方法等の決定を行う。	対面	7/28、11/4、2/12	72
47				千寿常東小学校施設更新に伴う設計等業務委託プロポーザル選定委員会	人間科学科	土田寛学部長/大島隆代准教授	プロポーザル選定委員会の学識委員。	対面	4/30、6/23、7/24	15
48		六大学		実務者会議	—	—	各大学の実務者と区で情報共有を行う。	対面	7/31、11/13、3/26	63
49				六大学学長会議	—	—	六大学の学長と区長による会議。今回のテーマは「大学と地域のこれまでとこれから～共に育む学びと創造の場～」。	対面	11/6	66

No.	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学科	個人名	事業概要	実施方法	実施日	参加者数
1	実習生受入	東京未来大学	大学生	公認心理師養成に関わる心理実習の受け入れ	こども心理学科	石倉篤特任講師	公認心理師養成課程の学生を対象に、臨床現場への理解を深めるため、当センターの心理職から担当する事業や心理職の役割等について講義および施設見学を実施。	対面	7/7	14
2				足立区保育実習生受入れ事業	こども心理学科	—	保育士資格を取得するために実習を実施。	対面	6/23～7/10	36
3				心理実習	こども心理学科	—	学部生14名をこども支援センターげんきの見学実習生として受入れ。事業概要を説明した。	対面	5/20	16
4		帝京科学大学		社会福祉士実習	医療学科	—	社会福祉士としての必要な知識及び技術について理解を深めるための実習。	対面	8/12～9/12、10/6～12/8	4
5				看護実習	看護学科	糸井和佳教授	地域包括支援センターの実習。	対面	3/3～5	6
6				相談援助実習/報告会	医療福祉学科	宮本佳子講師	社会福祉士養成のための相談援助実習(180時間2名、60時間2名)及び報告会。	対面	8/10～9/11、10/6～11/21、1/20	19
7				在宅看護学実習Ⅰ	看護学科	福井郁子講師	看護師のカリキュラムにおける地域看護の統合実習/地域包括支援センターの概要を把握する。	対面	2/17～19	6
8				地域看護学	看護学科	糸井和佳教授	看護師のカリキュラムにおける地域看護実践を学ぶ。	対面	8/25～27、29、9/1、2、8、9	16
9				—	看護学科	—	看護学生4名の受け入れにより地域包括ケアシステムと包括の実践を学んでもらう。	対面	2/17～19、3/3～5	6
10				母性看護学実習	看護学科	藤井美穂子教授	・L・フェスタに参加し、実習生は講演視聴と設営、撤収作業を行った。 ・多様性社会推進課長による講義を実施。	対面	11/8、9、12、17	17
11				地域生活支援論フィールドワーク	看護学科	福井郁子講師	子育てサロンでの実習。	対面	10/7、14	30
12				インターン実習	アニマルサイエンス学科/自然環境学科	—	キャリアアップのための実践的な飼育や解説体験を実施。	対面	8/4～8、27～31、3/3～19	4
13		文教大学		—	経営学科	新井立夫教授	主権者教育事業の担い手発掘のため、令和5年度からインターンシップの受入れを開始。グループワークによる選挙啓発企画研究、選挙物品の点検作業、公職選挙法事例検討などを行った。	対面	8/25～29	8
14				東京未来大学/文教大学	インターンシップ事業	こども心理学科/経営学科	—	・主に大学3年生を1週間程度、各所属に派遣し、仕事体験をしてもらう。 ・足立区の職場を体験し、働くイメージをもってもらうことで、足立区の入区希望者を増やすことが目的。	対面	7/29、8/4、18、25～29
1	大学授業と連携	東京未来大学	大学生	地域連携Ⅰ	モチベーション行動学科	森下一成教授	実際の地域連携活動に参加し、教室での学びと教室外での実践を通して、課題解決に向けた構想力と実践力の基礎を養うことをねらいとした授業。地域活動への参加として、マッチングしたNPO団体でボランティア活動を行う。	対面	春学期	5
2				東京未来大学「プレゼンテーションⅡ」発表会	モチベーション行動学科/子ども心理学科	棚倉和沙キャンバスアドバイザー	東京未来大学の1年生を対象とした「プレゼンテーション」の授業において、「大学生地域活動プラットフォーム」に参加している足立ブランド認定企業(9社)を対象としたテーマに沿った企画の学生による発表会。 発表テーマ:「足立ブランド認定企業と連携し、足立区を活性化させよう」	対面	2/6	238
3				東京未来大学「プレゼンテーションⅡ」大会	子ども心理学科	—	東京未来大学の1年生(180名)が「プレゼンテーション」の授業において、あだち幼保小接続期カリキュラム、幼保小連携活動報告を参考に、幼保小連携活動の企画を立案・発表する。 テーマ:こどもたちが就学前施設(幼稚園・保育園)から小学校へのスムーズな移行ができるように足立区の保育者・教育者としてできることを考えよ	対面	2/6	180
4		帝京科学大学		幼児保育学科基礎ゼミ	幼児保育学科	津田彰教授	公認心理師養成コースの新設に当たり、学生を対象に、公認心理師の職務の実際や足立区における心理職の現状、幼児発達支援室の心理士の役割などを講義形式で話した。	対面	7/2	45
5				保健医療福祉行政論(地域保健における食品衛生)講義	看護学科	糸井和佳教授	3年生の授業において、食品衛生行政について食品保健・監視係長が講義を実施。担当教授からの依頼により、令和元年度から実施。	対面	5/29	70
6				出前講座	東京理理学療法学科	奥田裕講師	理学療法学科の学生を対象に地域包括支援センターの役割、地域づくり、在宅支援から見た理学療法士に期待することについて講義した。	対面	7/2	70
7				地域ケアネットワーク	医療福祉学科	山田健司教授	地域の専門職が学生による地域福祉活動「千住便利隊」の活動報告を聞く。学生と高齢者とのかわり・活動内容・活動後の変化・学生の感想。	対面	1/16	80
8		文教大学		大学内「基礎ゼミナール」	国際観光学科	海津ゆりえ教授	「人に優しいまち」をデザインすることを学ぶ講義。文献研究とフィールドワークを通して「人に優しいまち」について学び、調査(フィールドワーク)、考える。	対面	12/10	26
9				サービ斯拉ーニング	国際理解学科	渡邊三津子准教授	大学生が地域のNPO等が実施する活動に参加し、コミュニティをベースとした実際の課題への対処、自らできることを活動を通して学ぶ。	対面	春・秋学期	6
10				公共経営実地演習	経営学科	新井立夫教授	行政課題の解決提案について、グループディスカッション、担当課への質疑、相談、プレゼンテーションを行う授業。庁内複数部署がプレゼン資料の作成に協力した。	対面	通年	15
11				地域プロジェクト演習Ⅱ	国際観光学科	海津ゆりえ教授	地域づくりに関する課題に対し、解決策の提案を行う演習。区から課題の提供や地域団体の紹介を行った。	対面	9/18～1/15	10
12				専門ゼミナールⅠ	国際観光学科	海津ゆりえ教授	エコツーリズムの基礎を学び、フィールドワークを通して、地域デザイン技法を修得する授業。足立区の現状を区職員が解説した。	対面	6/5	12
13				地域計画特論	国際観光学科	海津ゆりえ教授	今日の地域づくりにおける将来ビジョンや計画設計技術を学ぶ授業。シティプロモーション課長が登壇し、区の事例を紹介した。	対面	11/19	6
14				地域調査演習	国際理解学科	山田修嗣教授	区職員へのインタビューを通して、地域課題等を考える。シティプロモーション課職員が参加。	対面	12/2	11
15				防災講演会	国際理解学科	渡邊三津子准教授	足立区の地域特性や備蓄の重要性などの防災講話を実施。	対面	7/17	—

No.	事業区分	大学名	主な対象者	事業名	学科	個人名	事業概要	実施方法	実施日	参加者数
1	調査研究	帝京科学大学	—	リクガメの消化速度に関する研究への協力	アニマルサイエンス学科	野田英樹 准教授	全国のリクガメを飼育している園館で消化速度の一斉調査を行う。生物園はケヅメリクガメのデータを提供。	オンライン	5月、8月	—
2		東京電機大学		チョウの行動撮影	ロボット・メカトロニクス学科	藤川太郎准教授	高速度カメラを設置し、レンズの前を飛翔した蝶を撮影する。	対面	5/12、19、6/2、9	28
3		東京藝術大学／東京未来大学／帝京科学大学／東京電機大学	大学生	千住エリアに関する聞き取り調査	—	—	千住エリアデザイン計画策定に向けて、千住エリアに通学する大学生の意見を聞くためインタビューを実施した。	対面	7/1、7/14、7/16、7/18	19
4		東京未来大学／帝京科学大学	小中学生	ふれあいプログラム参加の有無による「動物の状態への関心」の違い	博物館教育研究所	並木美砂子教授	全日本博物館学会第51回研究大会にてポスター発表。	対面	7/5、6	—
5			—	ふれあい動物の「動画配信」方針に関する調査	博物館教育研究所	並木美砂子教授	英文雑誌AIMS Animal Science特集号「AnimalWelfare」	オンライン	11/10～30	—
1	企業等連携	東京未来大学	大学生	大学生地域活動ブラットフォーム	—	—	大学生を対象にした区内企業の見学会。足立区、NPO足立フォーラム21、東京未来大学の三者協定のもと実施。	対面	通年	165
2		帝京科学大学	—	企業アウトリーチ「肩こり、腰痛…解消しよう！整形外科医が教える上手な体の使い方」	—	特任教授、医師	企業に出向いての出前講座として実施。	対面	2/10	19
3		東京電機大学	全区民(16歳以上の方)	産学連携技術促進事業技術相談事業	研究推進社会連携センター	清水信宏氏	区内事業者からの技術相談受付、区内企業訪問、産学連携マッチング等を行う。	対面	随時	—
4			—	高等教育機関が設置する創業支援施設の運営に対する補助金	—	—	創業期の事業者の自立を支援するため、東京電機大学が平成23年に創業支援施設「かけはし」を設置し、運営費を区が補助。	書面	通年	—
5		文教大学	全区民	コラボ弁当企画	—	—	文教大学の子ども食堂（ぶんこ食堂）と東武ストアと区で2種のお弁当を開発、東武ストアにて販売。	対面	企画 6～10月 販売 11月～	—
1	研修	東京藝術大学	大学生	新入生オリエンテーション	—	—	音楽環境創造科の新入生に対して、足立区について紹介する。	対面	4/2	30
2		東京未来大学	—	学校開放事業スポーツ指導者向け講習会	子ども心理学科	藤後悦子教授	昨年発生した学校開放事業中の暴力事件を受けて、再発防止及び指導者のコンプライアンス意識の向上を目的として実施。	対面	2/28	51
3				1年次(初任者)研修	こども心理学科	小林祐一准教授	1年次(初任者)教諭に対して、東京都公立学校の校長・副校長及び教員としての資質の向上に関する指標に示された教員が身に付けるべき力のうち、特に「学習指導力」についての成長を促す。	対面	7/8	191
4		文教大学	大学生	大学新規採用職員向け研修	—	—	大学の新規採用職員向けの研修の一部で足立区を紹介。シティプロモーション課職員が登壇した。	対面	4/25	20
5		東京未来大学／帝京科学大学／文教大学		公立保育士採用説明会	こども心理学科/キャリア支援センター/キャリア支援部越谷キャンパス	—	区内の保育士養成学校に卒業生の現役職員が出向き、足立区の公立保育園の説明会を実施。職員採用試験の受験者増加が目的。	対面	6/17、18	68
6		六大学	—	青年期における発達障がい支援	—	—	あだち若者サポートテラスSODAより、事業説明および発達障がいのある大学生の支援事例を紹介を通して取り組みの報告を行った。その後は意見交換の時間を設け、各大学での取り組みなど交流の場を設けた。発達障がい支援に関する機関(大学・SODA・あしすと)の連携強化の場とすることを目的に実施した。	対面	8/8	11